

支援教育グループ研究会

グループ員：森脇 菜穂 (桜台小学校) 中山 貴嗣 (鈴原小学校)
有吉 佑加莉 (桜台小学校) 吉久 奈保美 (鈴原小学校)
永柄 千琴 (桜台小学校) 岩本 とよ子 (鴻池小学校)
細田 愛夏 (桜台小学校) 宿南 由紀 (稲野幼稚園)
桑原 友香 (天神川小学校) 大米 美初香 (こやのさと幼稚園)
担当指導主事：時村 孝完

キーワード：特別支援教育 子どもへの支援 行動面に課題のある幼児児童への理解

1 研究テーマ

「配慮の必要な子どもへの支援を考える」

2 研究内容

(1) 応用行動分析

幼児児童の行動面から具体的な支援を考えていくため、応用行動分析の研修をした。問題行動を「応用行動分析記録表」に記入し、分析した。問題行動が起きる前にどのような代替案を提示すれば望ましい結果が得られるか、また、問題行動が起きてしまったときにどのような対応をすればいいかを考えた。

(2) 事例研究

行動面に課題のある幼児児童の実態を把握し、学級担任に限らず、さまざまな立場から実施できる支援方法を探り、研修を行った。

(3) 具体的な指導場面における研修

プロンプトのタイミングやプロンプトフェードについて、動画を用いた研修を行った。実践的な研修をすることで、タイミングや声かけの内容についてより深めることができた。

3 成果と課題

(1) 成果

① 異校種間の交流

研究員は、幼稚園、小学校（通常学級担任、特別支援学級担任、特別支援教育支援員）からの参加であった。校種の違う教員、同じ校種でも立場の違う教員と交流を行うことができ、それぞれの取り組みを参考にすることができた。

② 事例検討

様々な事例を通して、行動面や学習面での一人一人の子どもの困難さや、その子を取り巻く状況、保護者支援について、様々な視点から研修を行うことができた。具体的な指導方法として、子どもの社会性や学習面・認知面への指導支援の仕方や、子育てがうまくいかないという不安な保護者への支援の仕方などについて、学ぶことができた。

(2) 課題

様々な障害種や起因する課題が異なる子どもについて、よりの確な実態把握をするために、具体的な情報収集・分析し、今後もより研究を深めていくことが必要である。